

親鸞聖人750回大遠忌法要

法要体制がスタート

去る十月十四日（金）午後二時に鷺森ホールで開催された臨時教区会（写真）で、来る二〇一一年（平成二十三年）から修行される「親鸞聖人七百五十回大遠忌法要」の「区令第一号和歌山教区法要事務所設置規則」が出席議員の全員賛成で承認された。本願寺では今年八月一日より「親鸞聖人七百五十回大遠忌宗門長期振興計画」が施行されているが、教区としてはこの日が、本格的なスタートとなつた。

この区令では教区における法要にかかる事務を円滑に行うため、教務所に法要事務所を設置、各種委員会で種々の事項を決定していくことが定められている。

今後、区令に基づき法要委員会を委嘱し、順次各委員会を開催し教区として法要円成に向け実働していく。

また、同教区会で二〇〇四年（平成十六年）年度各種決算の承認及び災害対策規程の一部を変更する区令が承認された。



発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 佐々木 孝昭

—掲載記事を募集します—
各組、各寺院で開催された行事や活動等、教区報に掲載して欲しいというものがあれば、どしどし教区報編集委員会まで寄稿ください。また、事前にご連絡いただければ、取材に伺います。

西病棟で、窓いっぱいに秋の太平洋がひろがっていました。

病院では教授の回診がありま

す。その日、主治医の話を聞い

た教授は微笑しながら言いまし

た。

「腹を立てんことですな」

ふりかえると、あれは日曜日の夕方で、小学生の孫が仲良く

三年前の中月、血を吐いて入院しました。内視鏡で見られると、左肺下から出ているようで、結核の疑いが晴れて、私は一般病棟に移されました。十一階の

願力の不思議で

教授の診断は、「お前はおろかである」となるのです。言葉をかえると「煩惱具足の凡夫なり」でしようか。われながら馬鹿だと思いました。

四

病院の下を和歌川が流れ、その水が毎日海に注がれているの

おかげさまで、半月たつて私は寺に帰れました。なにもかもご縁でした。

なむあみだぶつ

鷺森テレホン

紙上法話

蓮下 義昭
(和歌山教区 本願寺派布教使)

騒いでいたようです。ところが、いつの間にかけんかに変わったのです。それを聞くと、私はむかついて大声で怒り、立ち上がろうとして、口から血が噴きだしたので、家中びっくりしました。そのまま病院に運ばれた、こういうストーリーでした。

たわいもない子どもの争い、

人間は二人寄れば争いもする、仲良くもある、そんなことに大きく腹を立てるとは、こいつはどうも・・・。

五

夫というは、無明煩惱、われらが身に満ち満ちて、欲も多く、瞋(いかり)はらだち、そねみ、ねたむ心多くひまなくして、臨終まで消えず、断えず・・・」と嘆かれています。お前と変わらんよ、と言つてくれています。そして、共に本願力に救われますよと『正信偈』を作つてくださいました。

が見えました。きれいな水でないのに、大海は嫌いません。「水の潮となるがごと、凡夫と聖、一味なり」(意訳聖典)です。煩惱具足でよいぞよ、お前をそのままかならず救う。この呼び声、南無阿弥陀仏を受けてくれよ。本願海に帰入してくれよ。願力の不思議で、おろかな私を攝取してくださるとは、よ

鷺森テレホン 話

24時間いつでもどこからでも3分間法話が聞けます。
(法話は毎月一日・十五日に変わります)

073-422-0243

おにしさん

著『一念多念文意』の中で「凡



カナダ開教百周年記念法要参拝の旅

去る八月二十四日から三十二日
の間、和歌山教区では、京都
教区主催の「カナダ開教百周年
記念法要参拝八日間の旅」のツ
アーに参加。参加者は四十名
(和歌山教区二十三名、京都教区
十七名)。

今回の旅は、法要参拝だけではなく、カナダ観光も楽しめる八日間の行程を設定した。

二日目、バンクーバー仏教会を訪問。その後、UBCチャン

ン・ロツキーやナイアガラの滝などの壮大な自然を存分に味わい、八日間の実り多い旅を終え、参加者一同、忘れられない思い出となつた。

カナダ開教百周年記念法要参拝の
旅に参加して

八月二十四日、十六時三〇分
関西空港を出発し、翌二十五日
バンクーバーでの開教百周年記
念法要・晩餐会に参加しました。

現地の方との交流で、カナダ
には和歌山県・滋賀県・鹿児島

センターで開催された百周年記念法要に参拝。カナダに浄土真宗のみ教えが伝えられてから今日までの百年の間には、第二次世界大戦における日系人強制移動をはじめ多くの苦難があつた。それらを乗り越えられた日系カナダ人の方々のご苦労を偲び、ご門主ご親修により法要が修行された。

県等から多くの方々が移住されていることを知りました。様々に思ひや理由で移住されたのですが、その中に多くの門信徒がおられました。門信徒の方々は依り所を求め有志で仏教会を開設、仏教会を中心に混乱情勢の中を生活されてきました。第二次世界大戦中には燃え上がる火の中をご本尊を抱きかかえキヤ

かねてより、再度カナダを訪ねたいと思っていたところ、計らずともその機会に恵まれ夫とともに参加いたしました。

バンクーバーでは記念法要、交流会、晩餐会と盛り沢山の内容で催され、いざれもカナダの大自然と同様、すばらしい感動と感激をうけました。

ンプに移り、終戦後も困難な状況の中、十七ヶ所の寺院を建立し、お法の輪を広げられたご苦労を知ることができました。和歌山出身の方々が懐かしさのあまり、身を乗り出して話をしてくれたことがあります。身を乗り出して話をしてくださいましたことがとても印象的でした。

観光では、カナディアン・ロッキーやナイアガラの滝等、雄大な自然も満喫。中でも、ロッキーでエメラルド色の湖を見たときの感動は忘れることができません。

この旅を通して、色々な体験をし、当地の方々とのご縁で、改めてお念佛のつながりを喜ばせていただくことができ、有意義に楽しい旅を終えられたことを大変うれしく思っています。

「念仏」の喜びを確かなものにして
たいと思いました。

教区だより

9月

- 1日 総局巡回
- 3日 第1ブロック門信徒総研修会
- 3日 勤式講習会（鷺森別院）
- 4日 第3ブロック門信徒総研修会
- 11日 第2ブロック門信徒総研修会
- 12日 常備会
- 14日 近同推広報部会
- 15日 仏婦清掃奉仕
- 15日 基推委企画常任委員会
- 17日 勤式講習会（日高別院）
- 26日 仏青委員会
- 27日 近同推寺婦研修会（奈良/28日まで）
- 28日 ビハーラ潮光園訪問

10月

- 1日 勤式講習会（鷺森別院）
- 6日 基推委第1専門部会
- 7日 二法要部長会
- 7日 教区報編集委員会
- 7日 スカウト仏教章取得研修会
- 12日 第3ブロック寺婦研修会（京都）
- 14日 臨時教区会
- 15日 勤式講習会（日高別院）
- 17日 ビハーラ委員会
- 18日 基推委第4専門部会
- 18日 教化団体等役員協議会
- 19日 冊子編纂小委員会
- 21日 少年連盟委員会
- 21日 教区報レイアウト会議
- 24日 門推員連絡協議会役員会
- 26日 基推委第3専門部会連研小委員会
- 26日 大遠忌教区法要委員会
- 27日 ビハーラ潮光園訪問
- 28日 スカウト仏教章取得研修会

11月

- 1日 近畿仏婦大会（兵庫）
- 4日 スカウト仏教章取得研修会
- 5日 勤式講習会（鷺森別院）
- 7日 仏婦若婦人研修会
- 9日 近畿門推員代表者会議（和歌山）
- 15日 仏婦清掃奉仕
- 18日 中央若婦人研修会（本山/20日まで）
- 18日 スカウト仏教章取得研修会
- 19日 勤式講習会（日高別院）
- 24日 門徒総代会研修会
- 25日 寺婦研修会
- 26日 仏壯研修会
- 27日 仏婦研修会・社推協バザー
- 29日 基推委1・2専門部会合同会議

12月

- 1日 社推協歳末街頭募金
- 2日 スカウト仏教章取得研修会
- 3日 勤式講習会（鷺森別院）
- 9日 スカウト仏教章取得研修会
- 10日 子ども報恩講
- 10日 近畿仏青連絡協議会（和歌山/11日まで）
- 12日 教区報編集委員会
- 14日 連研のための研究会（日高別院）
- 17日 勤式講習会（日高別院）
- 17日 鶯森幼稚園創立80周年記念式典
- 29日 教務所事務納め（8日まで）

2006年1月

- 10日 教務所事務初め
- 16日 仏婦清掃奉仕
- 28日 近畿門推員研修協議会（和歌山/29日まで）

鷺森別院
【常例法座】 毎月十五・十六日
午後一時半より

十一月
味府浩子師（大阪教区）
瀬古誠師（東海教区）
一月
安部文雄師（新潟教区）

十一月二十四～二十八日
午後一時半より
武田達城師（大阪教区）

十二月
藤俊乗師（和歌山教区）
安部文雄師（新潟教区）
※二十七日は午後七時から御伝説拜
読。続いて通夜布教。
※二十八日のみ午前十時より
元旦会
一月一日 午前七時より
引き続き御流益式

日高別院
【常例法座】 一月二十日
午後一時半より
藤俊乗師（和歌山教区）
安部文雄師（新潟教区）
十二月四～六日
晨朝法要午前七時より
深夜法要午後一時半より
初夜法要午後七時より
※四日は深夜・初夜法要のみ厳修。
は晨朝・逮夜法要のみ厳修。
六日
【除夜会】 一月二十一日
午後十一時半より

別院だより

元旦会 一月一日
午前零時半より

お寺の雜学

お役に立つわけではないけれど、知つてみれば「へエ」とつぶやくコーナー。とにかく最初はご本尊の話題から。

全身が金色のご本尊は、江戸時代に本山から交付されたもの。寺院のご本尊のなかには、頭

**冊 図解雑学 浄土真宗
千葉乗隆著 ナツメ社 1,400円**



最近、書店でよく見かけるようになつた図解本。

図解本とは図表やイラストなどをふんだんに用い、難解と思われるテーマを分かりやすく解説するもので、大抵のものは一つの項目を見開き二ページで解説する体裁となつています。マーケットイン

一部には入門書の域を超えて
説されています。

真宗の歴史についてイラストや
写真を交えながら、真宗の知識
がない読者にも分かりやすく解
説程度ですが、親鸞聖人の説
生から第二次大戦までの浄土

ケから現代思想まで様々な分野の図解本が世に溢れています。

この時流に乗つて、というと叱られるかもしませんが、浄土真宗をテーマにした図解本が刊行されました。著者は真宗中の権威、元龍谷大学学長千葉垂隆師。歴史を専門とする著者だけに教義については軽く触れられる程度ですが、親鸞聖人の誕

一部には入門書の域を超えて

し 口絵の写真も美しい。浮士
真宗の歴史を楽しく、タイトル
通り雑学的に学ぶことの出来る
一冊といえるでしょう。

も蓮台も金色のいわゆる総金色の如来をみうけることがあります。ご承知のように、頭部は群青による彩色、全身は皆金色とし、台座の蓮台にある蓮弁は、綠青もしくは群青等による彩色（いわゆる青蓮華）というのが、現在木佛点検を受けることが出来るご本尊です。これは本山のご本尊を基準としています。ちなみに大谷本廟のご本尊は白蓮華です。近世まで本山は、寺院

に対して木佛下附の形をとつて本尊安置の許可をしていました。この頃のご本尊が、総金色の如来ということだったそうです。したがつて、このようなご本尊を安置しているお寺は、明治以前に開基されたといって間違ありません。いま三人がヘエといいました。

法語カレンダー・法語集
予約受付中

真宗教団連合発行の「法話カレンダー」並びに「法話集」を本年も教区で取り扱っておりますので、ご利用ください。

演説文集
「月々のことば」
法話集
一部
一五〇円

月々のことば

法話集

一冊二二六四

申込方法

先般、ご寺院へ送付させてい

ただいた申込用紙をご利用いた

だくか、お電話にて教務所まで

お申ください。
(担当・小山)

なお、申込期限は十二月九日。



本年で十五回目となる歳末助け合いで
街頭募金を実施

十一月一日(木)
歳末助け合い
街頭募金を実施

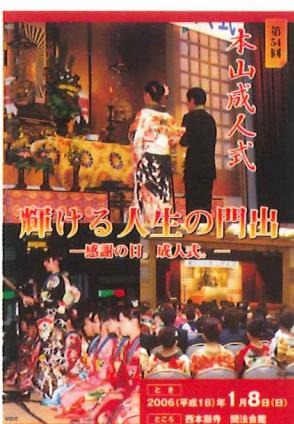
(毎月第一土曜日 午後七時より)
11／5・12／3・2／4・3／4
日高別院
(毎月第三土曜日 午後七時より)
11／19・12／17・2／18※3／25
日高別院

お問い合わせは教務所小山まで。
お問い合わせは教務所まで。
お問い合わせは教務所まで。
お問い合わせは教務所まで。
お問い合わせは教務所まで。
お問い合わせは教務所まで。

教区勤式講習会のご案内

今年度後期の勤式講習会を鷺森別院と日高別院で開催いたします。

藤岡大祐教区勤式指導員より左記講習内容の指導が行われます。参加費は無料。詳細は教務所までお問い合わせください。



この度、新成人となられたことをご縁とし、宗祖親鸞聖人のみ教えにあつていただくことを目的として、毎年本山で開催されているもので、参加費は二千円(式典のみの参加は無料)。募集締切は二〇〇五(平成十七)年十二月十五日となっている。

お申込・お問い合わせは本山組織教化部「本山成人式」係まで。

木村 繁子 和歌山東組 善正寺
福田 築次 紀南組 勝徳寺
稻本 省隆 海草組 仏源寺
前坊守 平成十七年九月五日

前住職 平成十七年十月十日
ご生前のご苦労を偲び、謹んで敬弔の意を表します。

鶴井 吾朗 有田北組 発願寺

月	講習内容
11月	御伝鈔
12月	正信偈(草譜・行譜・第二種)
2月	作法
3月	往生礼讃

吉村 公子 海南組 慶證寺

得度

教務所年末年始休暇のお知らせ

十二月二十九日(木)より
一月八日(日)までの間
通常事務を休止いたします。

①願記等については、一月十日受理となります。

②寺院関係者のご逝去など、緊急を要する件は、教務所までご連絡願います。



新門様ご婚約

この度、大谷光淳新門様のご婚約が相整われ、明春めでたくご結婚の運びとなりました。お相手は、ご学友の古川流豆美様(宮崎教区高鍋組信楽寺衆徒)親鸞聖人のご遠忌法要計画が動き出した年のこのご慶事に、「希望と期待に満ちた宗門の前途が象徴されているよう」と総長の喜びの談話も発表されました。

本山成人式参加者を募集

※1月は休会となります。
※3月の日高別院は彼岸のため第四週となります。

木村 繁子 和歌山東組 善正寺
福田 築次 紀南組 勝徳寺
稻本 省隆 海草組 仏源寺
前坊守 平成十七年九月五日

吉村 公子 海南組 慶證寺

得度